

日光市鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会第1回会議 会議録（公開用）

1 日時 令和6年7月29日（月） 午後2時00分開会

2 場所 藤原庁舎2階 藤原公民館 会議室

3 出席者

委員長	八木澤	哲男
副委員長	竹之内	正義
委員	八木澤	正則
委員	石川	元
委員	庄田	哲康
委員	高橋	克典
委員	藤原	涼
委員	高梨	晃一
委員	柴田	照彦
委員	和貝	真弓
委員	佐々木	真理子
委員	福田	和也
委員	沼尾	綾乃
委員	川嶋	一修
総合アドバイザー	山本	康友

4 事務局

財務部長	鈴木	和仁
資産経営課長	金子	憲一
資産経営課長補佐	高野	充博
資産経営課公共施設マネジメント係副主幹	日野原	茂将
資産経営課公共施設マネジメント係主査	大貫	慎也
資産経営課公共施設マネジメント係主査	福田	将大
資産経営課公共施設マネジメント係主事	鈴木	美穂
藤原行政センター所長	高村	光康
藤原観光課長	細井	正史
都市計画課都市計画係副主幹	神山	直之
生涯学習課長	斎藤	良介
生涯学習課文化振興係長	菊地	孝三郎
藤原公民館長	斎藤	和義

5 記録者 資産経営課公共施設マネジメント係主事 鈴木 美穂

- 6 議事 (1) 鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会の概要について
(2) 藤原総合文化会館検討専門部会での検討の経緯について
(3) 鬼怒川温泉駅前再整備における検討の視点について

7 会議の概要

①開会

- ・開会時に本委員会を公開とし、傍聴者の入場を認めること、また会議の概要を市ホームページで公開することの了承を得た。

②市長あいさつ

③委員・アドバイザー紹介

④事務局紹介

⑤委員長・副委員長の選任

- ・委員長に（一社）日光市観光協会鬼怒川・川治支部 支部長の八木澤 哲男 委員
副委員長に藤原地域自治会長会 会長の竹之内 正義 委員 が選任される。

⑥議事

- (1) 鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会の概要について

【事務局】

- ・資料1を基に市民委員会の概要について説明。
- ・参考資料2を基に市有財産ポテンシャル調査について説明。

【委員長】

- ・説明終了後、委員からの質問を求めたが質問はなかった。
- ・続いて総合アドバイザーから意見を求めた。

【山本総合アドバイザー】

- ・ポテンシャル調査を行うことで、様々な角度から施設の使い方を模索することができる。
- ・調査を終えたら、市民委員会の開催の有無に関わらず、委員に対して可能な限り早く資料を共有することで調査結果への理解を深めることができる。

(2) 藤原総合文化会館検討専門部会での検討の経緯について

【事務局】

- ・資料2を基に専門部会での検討の経緯について説明。

【委員長】

- ・説明終了後、委員からの質問を求めたが質問はなかった。
- ・続いて総合アドバイザーから意見を求めた。

【山本総合アドバイザー】

- ・駅前活性化に向けた検討を行ううえでは、関係団体からの意見を踏まえて行うことが重要。
- ・今年度より加わった、新たな委員との協議も非常に重要となる。

(3) 鬼怒川温泉駅前再整備における検討の視点について

【事務局】

- ・資料3を基に駅前再整備における検討の視点について説明。
- ・参考資料3については、駅前整備を検討するうえでの参考資料として配布したことを説明。

【委員長】

- ・説明終了後、委員からの質問を求めた。

【委員A】

- ・参考資料3によると、藤原地域の人口が減少していることが分かるが、人口減少に伴い、法人や事業所数も減少しているのか。

【事務局】

- ・法人や事業所数の減少の程度は人口減少よりも緩やかだと考えている。
- ・人口減少対策としては、関係人口の創出に重きを置いている。
- ・事業所数のデータについては、次回の会議で何らかのデータをお示しする。

【委員長】

- ・総合アドバイザーより意見を求める。

【山本総合アドバイザー】

- ・地元利用、観光振興の視点から駅前再整備を検討するうえで、観光振興の観点では、リピーターや関係人口の確保、外国人観光客への対応などが検討の視点となる。
- ・関係人口とは、観光客のみならず藤原地域の出身者なども含まれる幅広い概念になる。関係人口の創出に向けてはリピーターの確保や地元民・観光客が自ら情報発信を行いたくなるものを考える必要がある。
- ・検討を行ううえではDX化や脱炭素化など、社会を取り巻く環境の変化も考慮しなくてはならない。
- ・検討結果を実現するうえでは実践を通して課題を把握し、具体的な取組に反映させるトライアルも有効な手段となる。
- ・整備方針が定まったあとも、継続して検討を行い、関係団体の皆様から意見を聴取することが重要。

⑦その他

【事務局】

- ・委員に対し議事内容に関係なく、意見や疑問等を求める。

【委員B】

(山本総合アドバイザーへの質問)

- ・次第3、アドバイザー紹介の際に、この地域のポテンシャルの高さを述べられたが、どのようなポテンシャルを感じたのか。

【山本総合アドバイザー】

- ・歴史と伝統、農業や温泉などの地域の魅力が複雑に融合していると感じた。
- ・地元民にとっては当たり前の産業や、地域の中で日常的に行われていることもこの地域の資源・ポテンシャルだと感じている。
- ・しかし、現時点においては、それらの資源をうまく活用できていないという印象。

【事務局】

事務局より、以下の事項について連絡・確認を行う。

(1) 新委員加入の検討について

- ・JTBの宇都宮支店さまより、本委員会に加わりたいと話をいただいた。
- ・しかし、新たな委員の参加にあたっては、現委員に対して説明をすることが大前提であるため、ひとまずお断りしている。
- ・今後の会議において、再整備についての具体的な検討がスタートした際は、現委員の皆様にお諮りして、新たな委員として迎えるか再度検討していく。

(2) 会議録について

- ・会議録は、市ホームページへの公開を予定しているが、会議の要点のみを公開するという事で合意をいただく。

(3) 次回会議の日程について

- ・9月を予定。詳細な日時は決まり次第連絡する。

午後2時50分閉会